

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

(情 報 公 開)

1、 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根底であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たしてまいります。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させます。
- (2) 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善（Plan Do Check Act）を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めてまいります。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公開します。

2、 輸送の安全に関する目標及び達成状況

【令和 7 年度 目標】

- (1) 人身事故 ゼロ
- (2) 物損事故 対前年比 30%減

令和 6 年度目標		令和 6 年度達成状況	
人身事故	ゼロ	人身事故	0 件
物損事故	対前年 20%減	物損事故	対前年 12.5%増（3 件増）

3、 自動車事故報告規則第 2 条規定する事故に関する統計（令和 6 年度）

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日の間、自動車事故報告規則第 2 条に関する報告はありませんでした。

4、 道路運送法 22 条の 2 第 1 項に規定する安全管理規程

別紙『安全管理規程』の通り

5、 輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

直近 3 年間輸送安全マネジメント評価 なし

直近 3 年間民間指定期間における運輸安全マネジメント認定セミナー受講済み

6、 輸送の安全にかかわる情報の伝達体制その他の組織体制

別紙『事故災害に関する社内の報告連絡体制』の通り

7、 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況

別紙『令和 7 年安全教育推進年間計画』『初任運転者に行う安全運転の実技指導』の通り

8、 輸送の安全に係る内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置

内部監査実施月日 令和 7 年 3 月 26 日

監査結果 一部指摘事項があったが改善をした。

9、 道路運送法 22 条の 2 第 2 項第 4 号に規定する安全統括管理者に係る情報

安全統括管理者 取締役常務執行役員 森山 勲

選任日 令和 3 年 6 月 10 日

10、事業用自動車の運転者、道路運送法第 23 条第 1 項に規定する運行管理者及び道路運送車両法第 50 条第 1 項に規定する整備管理者に係る情報

①運転者に係る情報

正規雇用運転者 20 人 (内貸切運転者 9 人)
正規雇用以外の運転者 35 人 (内貸切運転者 2 人)
健康保険 39 人 厚生年金 39 人 労災保険 54 人 雇用保険 54 人
(貸切) 平均給与月額の水準 B 257,613 円

②運行管理者に係る情報

運行管理者 7 人 運行管理補助者 4 人
(内運転者兼務 3 人)

③整備管理者に係る情報

整備管理者 2 人
(内運転者兼務 1 人)

11、事業用自動車に係る情報

①保有車両数

・乗用 普通タクシー36 台 ジャンボタクシー4 台 福祉タクシー4 台
・貸切 中型バス 3 台 小型バス 2 台
・乗合 大型バス 7 台 ジャンボタクシー2 台 (乗用兼用)

②最新車齢及び最古車齢並びに平均車齢

・乗用 最新車齢 3 年 最古車齢 15 年 平均車齢 8.6 年
・貸切
中型バス 最新車齢 6 年 最古車齢 10 年 平均車齢 7.6 年
小型バス 最新車齢 8 年 最古車齢 10 年 平均車齢 9 年
・乗合 最新車齢 7 年 最古車齢 24 年 平均車齢 12.4 年

③ドライブレコーダー搭載車両台数

・乗用 44 台全車 ・貸切 5 台全車 ・乗合 7 台全車

④デジタル式運行記録計搭載車両台数

・乗用なし ・貸切 5 台全車 ・乗合 7 台全車

⑤AVS 搭載車両数

・乗用 5 台 ・貸切中型 3 台 ・貸切小型なし ・乗合 6 台

⑥主な運行形態

・貸切中型 企業送迎等 ・貸切小型 冠婚葬祭等

⑦任意保険の加入状況

・乗用 対人無制限 対物 200 万円
・貸切 対人無制限 対物 500 万円
・乗合 対人無制限 対物 500 万円

令和 7 年 7 月 1 日

出雲一畑交通株式会社

安全統括管理者 森 山 勲